

要 請 書

放射能から子どもたちを守ろう新潟ネットワーク  
脱原発をめざす新潟市民フォーラム  
代表 中村哲也  
新潟市西区五十嵐 1-6379-80

新潟市における市民の健康で文化的な生活を営む為、日々環境保全の活動に努めておられることに敬意を表します。

さて、3月11日発生の東日本大震災による未曾有の福島原発の重大事故が発生して、はや5ヶ月が経ちました。

新潟市においても原発事故の放射線による影響が表れてきています。特に子どもたちが放射線からの健康被害を受けやすいことを公共機関や団体が指摘しています。子どもに対しては厳しい基準である必要があるにもかかわらず、大人と同じ基準であることは、子どもたちが放射線被害を受けるリスクが一層高くなることを意味します。したがって、以下のとおり、新潟市に対して要請しますので、誠意あるご回答をお願いします。

記

- 1,子どもたちの活動特性を考慮し、土壌を含む放射線量を詳細に測定して下さい。そして、一般市民がわかりやすく知りやすいように公表してください。

いわゆる「ホットスポット」があることは、全国的調査の中でわかっています。また、これからの風向の変化による(累積)放射線量の変化も考えなければなりません。冬が来れば風と雪に対する心配もあります。にも関わらず、新潟市内8校クラス8区役所の調査とは余りにも少ないのではないのでしょうか。公立・私立の区別なく、幼稚園や保育園、小・中学校、高等学校、さらに、子どもたちの活動の特性を考慮した公園やスポーツ施設なども測定に加えるように求めます。それらを、普通の市民が継続的に、わかりやすく知りやすいように新聞やホームページなどで公表して下さい。

- 2,食べ物・飲み物について、これからの長期にわたる安心・安全を考慮した取り組みを追求してください。

給食食材(病院を含む)や野菜・米などの県産品食料及び飲料について、これからも放射線測定をしっかりと実施し、問題あれば公開し、生産者に責任を押しつけることなく、原因と責任を特定できる体制をつくるとともに、市民の希望により放射性物質の測定などができるような体制をつくってください。また、行政として安全・安心できる食料や飲料を紹介できるシステムを検討してください。

- 3,上記及びその他これから必要と判断できる環境対策などについて、市民の声を真摯に検討・実行できる体制の構築にむけ、努力してください。

<< 新潟市当局のみなさんへ、以下のお母さんたちの声を届けます。 >>

阿賀野川沿いの江南区江口。

ここでは昔から子どもたちが河川敷の浅瀬や林の中で遊んできました。

うちの子も近くのたんぼぼ保育園の子どもたちと元気にかけまわり、5歳になりました。

ザリガニや沢ガニに初めはびくびくしながら、年上の子のまねをして素手でつかまえられるようになったときの笑顔。

秋にはクルミの木に登って小さなクルミをとり、寒くなったら焚き火で焼いて食べて思わずこぼれる笑顔。

河川敷をかけまわり転んで手をついても自分で立ち上がったときのしゃんとした表情。

…つい最近まで、こんな風景がこれからもずっと続くことが当たり前のように思っていました。

でも、8月上旬の県庁の測定結果でセシウムが検出ゼロではなかったため、以前のように遊ぶのが心配になっています。

放射能の測定場所を増やし、頻繁に測定、公表していただけますようお願いいたします。そして、専門家のコメントを付すにあたって、見解を異にする複数の意見がある場合は、それぞれを提示していただきたくお願いいたします。

-----

昨日考えたのは下記の通りです

- 1、新潟市の積算放射線量を計ること
- 2、新潟市で生産されている農作物について含有放射線物質を調べて、消費者生産者ともに守ること
- 3、幼稚園や小中学校だけでなく、子どもが日頃遊びに行く公園の空気中と土壌の放射線量を計ること

-----

各施設の土壌の検査を希望。

学校給食の選択の自由化

病院の食事（入院中の）の食材の安全管理を徹底してほしい

↑ 得に小児の入院、産前産後のお母さんの食事

-----

十日町の幼稚園・保育園で高濃の土壌汚染が見つかった記事が出ていましたが、5か月間知らなかった子ども達が心配になります。

この件では空間線量も他と比べて特別高いわけではないのに土壌がものすごく高かったというのは素人の私には謎ですが、新潟市含め他の自治体でも空間線量だけでなく土壌調査のポイントも多くないと傾向が分からないのかもしれないかもしれませんね。水田の作付け基準のファイルを拝見しましたが、あらためて国の基準がいかに狂っているかがよく分かりました。

管理区域相当の場所でも主食を栽培できるというのは、どう考えてもおかしいです。

友人達にも伝えます。

流通の偽装や不透明性なども懸念材料です。

-----

新潟市の放射能の値も危険なのでしょうか…

不安です

新潟市はそれほど数値高くないだろうと思っていたワタシ…

新潟市に対しての要望とするなら、不安を早く取り除いてほしい。

母親が子育ての責任の大部分を締めていると感じられる今の時代、放射能の不安の中での子育ては本当に辛く、切ないです。

心配の余り、やつれてしまうお母さんがいます。

市はもっともっと放射能について分かりやすく、子供への影響について、また安心ならその理由を早く明確に説明する場を設け、全ての子育て世代に伝えるべきだと思います

学校、幼稚園、保育園また子育て支援センター等で説明会を開き、出来るだけ多くの方が説明会に行きやすい環境を整えて欲しいです

不安を早く取り除いてほしい。

---

#### 要請

1 公園などを含む市内のなるべく多くの地点での継続的な線量測定の実施

2 給食食材の吟味、産地の公表。摂取に関する児童や保護者の意志が尊重される環境づくり。

3 放射能汚染に対する新潟市の取り組み、実施した測定結果、それに対する市の見解などの市民への分かりやすい公表。

(現在、誰もが外部内部ヒバクの危険にさらされて暮らしている。特に子ども達への影響が心配されるにも関わらず、子育て中の母親、父親などが日々の育児に手一杯で、必要な情報や学びの機会を得にくい状況にある。

また、市民が皆インターネットを使える環境にあるわけでもない。

誰もが日常生活の中で受けとることができる方法での情報発信をお願いしたい。

多くの市民が問題を共有出来ることにより、健康を考えた取り組みのさらなる広がり、子ども達の内部ヒバクを防ぐために各地で働きかけを行おうとする母親達の孤立化防止などの支援になるのではないかとおもわれる。)

4 福島の子どものヒバクを防ぐための、新潟市と新潟県からの国への働きかけ

5 柏崎刈羽原発の深刻な事故を想定した新潟市の対応の市民への周知

以 上

連絡先